

クラス番号	909	担当教員名	高藤 真弓
テーマ	高齢者のくらしを支えるソーシャルワークの理解		
ゼミナール概要			
1) 目的と内容 ① 高齢者のくらしを支えるものは何か、家族や地域社会が担っている役割と、医療・福祉専門職が果たしている役割について考えていきます。 ② 社会福祉実践における自分自身の問題意識を明確化し、ソーシャルワーク実践者としての解決方法の基礎を習得します。 2) 授業計画 ① ゼミの前半では、高齢者のくらしと課題について、テキストや新聞記事等をもとに検討します。 ② 問題意識を明確にし、自ら調べて理解し、他者に報告するためのスキルを獲得します。 ・ 図書館を活用して、文献や論文、資料の検索方法を習得する。 ・ 資料を読み込み、まとめるちからを獲得する。 ・ レポート作成の基礎知識を学ぶ。 ・ ワード・エクセル・パワーポイントを用いたプレゼンテーション資料を作成するスキルを獲得する。 ・ ゼミ報告を通して、プレゼンテーションスキルを向上する。 ・ ディスカッションスキルを向上するための質問や回答方法を獲得する。 ③ ゼミの後半では、対象者のくらしの成り立ちを理解し、ソーシャルワーカーの活動について体験的に学ぶために、フィールドワークを行います。 この体験を通して、専門演習に向けた研究方法の基礎を習得します。 3) フィールドワークの方法と対象地 (専門演習の3・4年生と合同) ① 名古屋市 M 区における一人暮らし高齢者の方々との交流活動 一人暮らし高齢者と民生委員の方々に協力を得て、お食事会を年間2回程度行っています。地域社会でくらししている高齢者の方々とお会いし、レクリエーション活動をとおして高齢者の地域生活と課題に関する理解を深めます。 ② 尾北医師会地域ケア協力センターの活動 ゼミ担当教員の勤務先である丹羽郡大口町の尾北医師会地域ケア協力センターで、医療と福祉領域に関わるソーシャルワーカーの実践を体験的に学びます。生活相談員や医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員等の社会福祉領域における専門職の役割を理解することが目的です。 4) 留意事項 ゼミ開講日以外にもフィールドワークに参加してもらうことがありますのでご了承ください。			
担当教員からのメッセージ			
 みなさんのこれまでの学習は、「正しいものを選ぶ」「答えを見つける」ことが中心だったのではないのでしょうか。しかし社会福祉実践とは、一人ひとり違う生活を営み、人生を歩んでいる人々に関わっていくということです。これからのみなさんには、自分で考え、調べていく学習方法を身につけることが求められているといえるでしょう。 人を理解するためには、まず自分自身を育て、ゆたかな感受性とそうぞう（想像×創造）する力を養うことも大切です。好奇心を大切に、「なぜだろう」と考えて調べてみる習慣を身につけることから始めていきましょう。			